



門川町立草川小学校 校長室便り

令和5年度 第10号（令和6年2月15日発行）



草小HPへ
「QRコード」は、
株式会社デンソー
ウェブの登録
商標です。



R5教育目標：夢に向かって 自ら学び 心豊かな たくましい 草小っ子

令和6年度の「教育課程」を検討中

～ 子どもたちのためにどうなのか～

学校では12月頃～3月にかけて、次年度の「教育課程」の編成作業を進めています。毎年12月頃に、保護者や学校運営協議員さん方を対象に行う学校評価やアンケートの結果も参考にしながら検討を進めています。実際には、教務主任（本校では杉主幹教諭）が中心となって編成作業を進め、職員会を月1～2回のペースで開いて、全職員で協議しながら進めていきます。職員会の中で、毎年どのようなことが話題に上がるのか紹介したいと思います。

◆運動会を1日開催に戻すか、半日開催を続けるか？

- 児童の体力的なことや練習期間を考えると…。
- 保護者の希望を優先すると…。
- 学年リレーの復活まで望むなら半日では終わらない…。
- 児童の活躍を地域の方々にも披露する一大イベントだから…。



◆4月の家庭訪問を復活させるか、学校での面談を継続するか？

- 面談でも十分な情報交換はできるのでは…。
- 面談の方が移動時間がないので効率的…。
- 面談では、家庭の様子や養育環境等が見えにくい…。
- 家庭に伺うことで子どもや保護者との距離が近づく…。

◆午前中5時間授業がいいのか、午前中4時間授業がいいのか？

- 午後からの授業は集中が続かないので、できるだけ午前中に…。
- 午後の授業が少ないと出張に行きやすく、翌日の授業準備等も…。
- 午前中5時間だと、給食を食べるのが13時頃になる…。
- 午前中5時間だと、朝のスタートがバタバタする…。

「教育課程」とは？

学校全体の年間の大きな「時間割(カリキュラム)」のことです。行事の時期や規模、当日までの準備や練習時間等について検討したり、各学年・各教科の授業時数を月ごとに計算して年間の授業時数を確保したりして編成していきます。

昨年度の職員会では、「掃除は週2回で十分か？」という議論の結果、「ゴミや汚れが気にならない子たちが増えてしまうのでは…」という結論に至り、**今年度は週3回掃除の時間を設定し**、きれいにしているところです。その分、下校時刻が遅くなる日が1日増え、文科省が進める教員の働き方改革とは逆行しますが、子ども重視の最善策です。

上記はいずれもここ2～3年、毎年のように時間をかけて協議している懸案事項です。一つ目の運動会の開催方法を例に挙げると、教員側の負担や保護者側の都合等で「午前中開催がいい」という意見もよく耳にしますが、**最終的に決定する際の判断基準は「子どもたちのためにどうなのか？」**ということです。各種行事等で、万人の希望を叶えることは困難ですが、様々な立場の人が少しでも納得できるように**折り合いを付けながら最善策を見つけていくことが大切**と考え、教育課程を編成しています。

被災地では小・中学生も大きな力に

～ 2月全校朝会～

“避難所で 小・中生 新聞製作…被災者『笑顔になれる』”（宮崎日日新聞1月17日掲載記事）

今月の全校朝会では、この見出しの記事を子どもたちに読んで紹介しました。能登半島地震で大きな被害が出た珠洲市の避難所で、被災した小・中学生約10名が、体調管理やトイレ使用時の注意点、エコノミークラス症候群の防止対策としてのストレッチ方法等の生活に役立つ情報を新聞にまとめ、掲示しているという記事です。「**自分たちに何かできることはないか**」と考える小・中学生がいること、小・中学生には被災者を元気づける大きな力があることを伝えました。この小・中学生の行動力から、教科指導だけでなく、**道徳や総合的な学習、係や委員会活動等の重要性**を改めて感じたところでした。

安田修様（前町長）より寄付をいただきました

昨年末に、前町長の安田修様より「ふるさと門川応援資金」として、町内の小・中学校及び門川高校の5校にそれぞれ寄付金をいただきました。「子どもたちの教育に役立ててもらいたい」という安田様からの思いを受け、本校では全校朝会や集会時等でよく使用する**大型スクリーン（体育館用）と、低学年向けの跳び箱を購入**させていただく予定です。安田様には心より御礼申し上げます。



～「江戸しぐさ」コーナー～

①『七三歩き』

②『こぶし腰浮かせ』

どんな気配りやしぐさなのか？…想像してみてください。
解説は来月号で！

※ 先月号の解説

- ①『後引きしぐさ』⇒ 帰る人が見えなくなるまで見送ってあげるしぐさ…「来て良かった」と思えるような見送り方
- ②『さしのべしぐさ』⇒ 知らない人でも、困っていたら「大丈夫ですか？」と手を差し伸べるようなしぐさ…「お互い様」の気持ちで

